

## 「2022年度第2回グリーンチャンネル放送番組審議会」議事の概要

1. 日 時 2022年12月3日(土) 11:00~12:35

2. 場 所 中山競馬場 会議室

3. 出席者

委 員：石井秀司委員長、小林善一郎副委員長、有吉正徳委員、井口保子委員、  
塩田忠委員、白川次郎委員、外山みどり委員、山田隆雄委員

放送局側：横山清弘理事長、成沢裕常務理事、鳩山正仁常務理事、  
山本修理事(兼経営企画部長)、住吉恵編成制作部長

4. 内 容

(1) 【報告】2022年度第1回放送番組審議会の議事概要の公表について

(2) 【審議】2022年6月13日~12月3日の放送番組について

(3) 【審議】指定番組について

①水曜馬スぺ! 『新・競馬ワンダラー4外伝 荒尾競馬よ永遠なれ』(9月7日放送)

②月曜馬劇場 『全日本はずれ馬券委員会#7』(9月26日放送)

5. 議事概要

審議に先立ち、放送局側から、2022年度第1回放送番組審議会の議事概要及びホームページ公表日時(2022年6月30日(木)午前10時)について報告を行った。

【審議】2022年6月13日~12月3日の放送番組について

委員の発言、放送局側の回答

・海外中継について、グリーンチャンネルが勝馬投票券の発売対象外のレースも放送するのはとてもよいことであると思うが、馬券購入の参考として、有力外国馬の情報をもっと知りたいとすることがある。戦績などは調べればわかるが、参考になるレースをもっと流すことはできないか。

⇒勝馬投票券の発売対象レースを放送する際は、レースの当該週に「参考レース」と情報番組「Go Racing!」を初回無料放送で編成している。今後も番組内容の充実に努めていきたい。

・海外中継の参考レースや情報番組は、番組の事前告知を見ていない人が多いのではないだろうか。告知を見た人は気づくが見ていない人はまったく知らないというケースもあると思う。また、その他の番組の告知についても、民放のステーションブレイクのように頻繁にやったらよいと思う。

⇒海外中継及びその関連番組の告知は、勝馬投票券の発売が発表になってからとなるため、少なく感じる方もいると思う。その他の番組の告知については、番組と

番組の合間に告知 CM を入れたり、中継内でもできるだけ告知するようにしている。広報・告知についてはさらにやり方を工夫し、今後も幅広く実施していくこととしたい。

- ・コロナ禍でなかなか競馬場へ行けない時期は、土日の全レース中継をほぼ毎週視聴していたところであり、キャスターの皆さんの知識の豊富さ、事前準備には感心させられる。ただ、パドックキャスターの言葉づかいで気になることがたまにある。例えば「第〇レースのパドックをお伝えします」というフレーズを耳にすることがあるのだが、「パドック」はあくまでも場所のことであって、正直違和感がある。放送、特に競馬番組においては、専門用語はなるべく排除し、誰が聞いてもわかる言葉を用いる工夫をこらすべきではないだろうか。今使っている言葉を当たり前と思わずに、他にもっとよい言葉はないか常に考える習慣を持つようにしてほしいと思う。

⇒頂いたご意見については、出演者・スタッフとも共有し、今後の番組づくりに役立てていくこととしたい。

- ・11月に放送された「ケイバプレゼンター」の中で、宮下瞳騎手が女性騎手についてプレゼンテーションをされていたが、なかなか素晴らしかった。反面、バラエティやお笑い芸人が出演する番組などで、ちょっとどうかと思うこともある。グリーンチャンネル Web の加入者が増えているとのことでもあり、例えば視聴者参加型のコンテンツをもっと考えてもよいのではないか。

⇒現在、視聴者参加型のコンテンツは「ケイバドーも!」「炎の十番勝負」などに限られているが、頂いたご意見を参考に検討していきたい。

- ・グリーンチャンネル Web のライブラリ動画、見逃し配信サービスは大変便利でありがたい。今後もグリーンチャンネルがますます力を入れていくべき分野だと思う。また、「草野仁の GateJ.プラス」で武豊騎手と尾形充弘元調教師が出演した回は内容が充実していた。
- ・引退調教師や騎手に関する特別番組など、グリーンチャンネル以外では作れないような、将来に亘って記録として残していく番組をもっと制作していくべきではないか。

⇒貴重なご意見として頂戴したい。

#### 【審議】指定番組について

①水曜馬スベ! 『新・競馬ワンダラー4 外伝 荒尾競馬よ永遠なれ』(9月7日放送)  
委員の発言、放送局側の回答

- ・旧荒尾競馬場のスタンドが取り壊される、ということがきっかけで企画を考えた番組だと思うが、荒れ果てたスタンドの紹介や描写だけで本当によかったのかという疑問が残った。また、荒尾競馬場の石碑を取り上げるシーンについても、その歴史

などもう少し中身に踏み込んでほしかった。他方、浅野靖典さんの「我々にできることは、これを記録して記憶して語り継ぐことです」というセリフは胸に残った。  
⇒競馬や競馬場の歴史を取り上げる番組については、来年以降も制作する機会が多々あるので、頂戴したご意見を参考に、様々な要素を取り込んでより深みのある番組を制作していきたい。

②月曜馬劇場 『全日本はずれ馬券委員会 #7』（9月26日放送）

委員の発言、放送局の回答

- ・はずれ馬券を取り上げる、というのはなかなか斬新な企画であると思ったが、セットが貧弱に感じた。
  - ・多くの競馬ファン・視聴者の共感を呼ぶ番組構成で興味深かった。まだまだ工夫の余地があるのではないか。「競馬場の達人」と同様にヒットするポテンシャルを感じた。
- ⇒「はずれ馬券のエピソードを楽しく愉快に取り上げる」というコンセプトで番組を制作したため、あえて華美ではなく質素な風合いのセットを使用することとした。来年続編を放送する予定であり、さらに知恵を出して制作していきたい。

以上